

情報工学から想像学へ： ヒューマンエージェント インタラクションから 物語応用までの系譜

人間は他者の意図を推し量る社会的知能を持つ動物である。本能力は情報学研究にとって極めて魅力的な課題であるとともに、今後の人工知能技術を用いた社会で、需要のある分野でもある。本発表では社会的知能に関する研究を中心に、ヒューマンエージェントインタラクション研究から物語応用まで、発表者がどのように研究を広げていったかを伝える。

10月16日(水)
16:30~18:00

事前申込制

下記URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://bit.ly/4en2LVX>

受付開始：10月3日(木)午前10時～

※申込先着順で定員になり次第締め切ります。

対象：塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は、塾生を優先します。



大澤博隆

慶應義塾大学理工学部准教授



講師：大澤博隆（慶應義塾大学理工学部准教授）

場所：日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は塾生を優先します。

問い合わせ：toiwase-lib@adst.keio.ac.jp

2009年慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻博士課程修了。2022年より、慶應義塾大学理工学部管理工学科准教授/筑波大学システム情報系客員准教授、HAI研主宰者、慶應SFセンター所長。ヒューマンエージェントインタラクション、人工知能の研究に幅広く従事。共著として「人狼知能:だます・見破る・説得する人工知能」「人とロボットの〈間〉をデザインする」「AIと人類は共存できるか」「信頼を考える リヴァイアサンから人工知能まで」「SFプロトタイプング: SFからイノベーションを生み出す新戦略」「AIを生んだ100のSF」など。監修として「アイとアイザワ」「SF思考 ビジネスと自分の未来を考えるスキル」など。人工知能学会、情報処理学会、日本認知科学会、ACM等会員、慶應義塾大学サイエンスフィクション研究開発・実装センター所長。博士(工学)。